

党市議団 石川良三市長と鎌田亨教育長に

聖火リレーへの児童・生徒の 参加中止を求める申し入れ

28日（月）、日本共産党市議団は「聖火リレーへの児童・生徒の参加中止を求める申し入れ」を行いました。石川市長は「総合的に検討したい」と述べました。党市議団は、強く参加中止を求めました。申し入れ全文は下記の通りです。

聖火リレーへの児童・生徒の参加中止を求める申し入れ

東京五輪の聖火リレーが、7月6日～8日に埼玉県内で実施される予定です。

新型コロナウイルス感染症対策の「まん延防止等重点措置」対象のさいたま市、川口市では公道での実施が中止されますが、その他の38市町では公道で実施します。

春日部市の聖火リレーは、7月7日（水）12時40分から14時20分ごろに三枚橋会館前から新町橋西交差点までの区間で実施される予定となっています。

聖火リレーの実施にあたって、大野元裕知事は「観覧客の密を回避するなど、想定されるリスクを最小限にすることを前提として実施することが重要」として、可能な限りインターネット中継での観覧を呼びかけています。

春日部市でも「沿道の密集を避けるため、ライブ中継で観覧」を呼びかけている中で、粕壁小学校児童120名、豊野中学校吹奏楽部の生徒30名が参加することになっています。

現在、デルタ株などの感染力が強い変異株が広がりつつあり、観覧は極力避けるべきです。学校では「不特定多数の人が集まる場所への外出は避けること」を強く指導しています。

したがって、児童・生徒の健康と命をまもるために、聖火リレーの観覧は中止するよう申し入れます。



左から卯月手気比湖、大野とし子、松本ひろかず、石川良三市長、並木敏恵、今尾やすのり、坂巻かつのりの各議員 6月28日 市長応接室